

新病院の重点機能について

1. 新病院の果たすべき役割

地域医療の基幹病院として、急性期医療や高度医療、政策的医療などを中心に、引き続き公立病院としての役割を担う。

<高度・特殊・先端的医療への対応>

救急

2次・3次救急の実施

4疾病

脳卒中、心筋梗塞、糖尿病、
がん医療の提供

小児

小児医療の充実

災害時

災害拠点病院

周産期

高リスク出産への対応

<政策的医療への対応>

感染症

第二種感染症
指定医療機関

エイズ

エイズ治療の中心
的な役割を果たす

産科

周産期医療
と連携

臓器

臓器提供施設

<人材育成>

- ・医療に関わる人材の育成に努める

<地域連携>

- ・地域医療支援病院としての役割
- ・オープンシステムを維持

2. 新病院の重点機能

(1) 救急・災害医療

<あるべき姿>

- 救命救急センターとして、重篤な救急患者へ迅速かつ適切に対応する。
- 災害拠点病院として、24時間体制で災害医療へ対応する。

<あるべき姿を実現するため検討すべき取り組み>

- 救急患者の受け入れ体制の整備・充実
 - 救急専門医や看護師、他科医師の支援体制の確保
 - 総合診療医、認定看護師等によるトリアージ機能の強化
- 特定集中治療室の機能強化・充実
 - 救急病床の体制強化（看護師等の人員確保等）
 - 救命救急センターと特定集中治療室の機能分化
- 関連施設の近接配置
 - 救命救急センターと検査、画像診断との近接配置
 - 救命救急センターから手術室、ICU等への直通動線の確保
- 災害対応の強化
 - 災害時におけるトリアージスペースの確保
 - 緊急医療チーム（DMAT）の体制強化

<現状>

- 救急患者の受け入れ件数を維持・増加させるには、患者の受け入れ体制や集中治療できる環境が不十分
- 患者動線、施設配置に非効率な部分がある
- 大規模災害に対応するには、対応体制や受け入れ設備が不十分

(2) 循環器系疾患医療

<あるべき姿>

- 脳梗塞や脳出血、急性心筋梗塞、大動脈瘤等の治療を確実に提供する。

<あるべき姿を実現するため検討すべき取り組み>

- ■ ■ 特定集中治療室の機能強化・充実
 - ICU、CCUの体制強化（医師、看護師等の人員確保等）
 - 特定集中治療室の機能分化（救命救急センターからの独立）
- ■ ■ 循環器疾患の最新かつ最良の診断・治療の実施
 - 循環器センターの体制強化（医師の確保）
 - 高度医療機器、血管撮影装置と連携した高度手術室等の整備
 - 心大血管疾患リハビリテーション、脳血管疾患リハビリテーション実施体制の強化
 - 脳卒中センターの設置（神経内科、脳神経外科の連携強化）
- ■ ■ 関連施設の近接配置
 - 血管造影室等と救命救急センターとの近接配置、直通動線の確保
 - 血管造影室等と放射線診断、手術室との近接配置、直通動線の確保

<現状>

- より高度な循環器疾患治療に対応するには、集中治療できる環境や高度な診断・治療の設備・体制が不十分
- 患者動線、施設配置に非効率な部分がある

(3) がん医療

<あるべき姿>

- 地域がん診療連携拠点病院として、予防から手術、放射線療法および化学療法を効果的に組み合わせた集学的治療を提供する体制を構築する。

<あるべき姿を実現するため検討すべき取り組み>

- 集学的がん治療の推進
 - 診療科、放射線科、化学療法室、緩和医療科、健診センター、がん相談支援センター等の関連機能の効率的連携体制の整備
 - 効率的、機能的なセンター化の推進
 - 外科手術・内視鏡手術のための体制強化・施設整備
 - 術後等重症患者に対する集中治療機能の強化（ICUの強化）
- 特徴あるがん医療の提供
 - 血液系がんへの医療提供体制の強化・充実
 - 消化器系がん、呼吸器系がんへの医療提供体制の強化・充実
 - 女性のがん（子宮がん・乳がん等）医療提供体制の強化・充実
- 緩和ケア医療の強化・充実
 - 緩和ケアチームの体制強化
 - 専門医、専門・認定看護師、薬剤師等の人材確保・育成

<現状>

- 今後のがん患者増加に対応するには、がんの集学的治療体制が不十分
- 今後増加が見込まれる胃がん、大腸がんのシェア率は市内のがん拠点病院よりも低い
- 今後のがん患者増加に対応するには、終末期対応体制が不十分